

七月よみとりおけいこ⑥低学年

名まえ

今年の土用のうしの日は七月二十八日です。というこ
とで、今日は土用のうしのはなしをしてみましよう。

今のようにウナギをかばやきにするようになったのは
江戸時代の一六八八年～一七〇四年のあいだのことだそ
うです。そして一七七二年～一七八九年のあいだには、
江戸の人々のあいだで土用のうしの日^{うし}にウナギをたべる
ことがはじまったのだそうです。

もつとも、千三百年ほどまえには大伴家持^{おおとものかもち}という人が
「夏^{なつ}やせにはウナギをたべるといい」と歌^{うた}によんでいま
す。

江戸時代にベストセラーになった『養生訓^{ようじょうくん}』という本
にはウナギが夏^{なつ}におすすめのたべものであることがかか
れています。

そのころの江戸では健康ブーム^{けんこう}がわきおこり「腹^{はら}
八分目^{はちぶんめ}を心がける」「旬^{しゅん}のものをたべる」ということが
すっかりいきわたっていたようです。

「本日土用丑ノ日^{ひらがけんない}」という紙を平賀源内^{へらがげんない}という人がウ
ナギやさんにはったという説^{せつ}もありますし、江戸・神田^{かんだ}の
ウナギや・春木屋善兵衛^{はるきやぜんべえ}がうしの日^{うし}にたべるようにす
めたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によいたべものだとおも
われていたことはたしかです。

しかし、ちかごろニホンウナギはピンチなのです。

少しまえまで河口^{かこう}にうじゃうじゃいたシラスウナギ（ウ
ナギの子）がほとんどいなくなつたのです。とりすぎや温
暖化^{だんか}のえいきようといわれています。このままでは絶滅^{ぜつめつ}
してしまうのでは？と心ばいする人もいます。みなさん
もそのあたり、しらべてみては？

① なんのはなしですか？

② 土用のうしの日にはなにをたべるといいとか
んがえられたのですか？

③ 土用のうしにはウナギ、といわれはじめたの
はいつですか？

④ 江戸時代（ ） 明治時代（ ） 昭和時代
千三百年まえにウナギをすすめた人はだれで
すか？

⑤ 江戸時代にウナギがおすすめとかいてあつた
ベストセラーはなんという本ですか？

⑥ 江戸時代の健康ブームでいきわたつたことを
二つあげましよう。

⑦ 土用のうしのはり紙をしたらしいといわれる
人はだれですか？

⑧ あつている文に○をつけましよう。

（ ） ウナギは大きくなるとシラスウナギになる。

（ ） ウナギのかばやきはおおむかしからある。

（ ） むかしからウナギは体によいとされた。

⑨ おもつたことを四行にまとめましよう。

できればは？

